



SCL シリーズ

ライブストリーミング・ライブラリー
・サーバー

SCL-3300 シリーズ - SCL-2300 シリーズ



SCL-3300 シリーズ

ライブストリーミングライブラリーサーバー「SCLシリーズ」は、シネマオートメーションCA2.0に対応するように設計されています。このサーバーは、約3,000本のDCPを保存可能で、30のスクリーンに対してDCPコンテンツを瞬時にストリーミングできます。各スクリーンのメディアサーバーにローカルストレージを設置する必要がなくなるため、DCPの転送作業が不要になるだけでなく、上映作品の選択制限がなくなり、大容量の映画ストレージ需要にも対応可能です。



SCL-2300 シリーズ

SCL-3300シリーズとSCL-2300シリーズは、GDCの第3世代ライブラリーサーバーで、オールフラッシュアレイを採用した初のサーバーです。全ストレージにエンタープライズクラスのNVMe SSDを使用し、高い効率性と安定性を備えたライブラリーサーバーとなっています。

さらに、SCLシリーズのライブラリーサーバーは、シネマオートメーションCA2.0と連動し、上映プレイリストの自動生成や上映スケジュールの管理を可能にします。また、デジタルシネマ機器のスマート管理や投影品質の監視も行うことで、劇場での無人投影を完全に実現します。

著作権©2024 GDCテクノロジー株式会社。無断複写・転載を禁じます。このパンフレットに記載されているすべての商標は、それぞれの所有者の財産です。仕様は、継続的な製品開発と改良のため、予告なく変更されることがあります。



SCL シリーズ 主な特徴

1 コンテンツの取り込み、転送、再生が自由自在
第3世代のSCLシリーズ・ライブラリー・サーバーは、先進的なオールフラッシュ・アレイを搭載し、インジェストされたコンテンツをDCP用のライブストリーミング・サーバーから、すべてのスクリーンで再生できます。このSCLシリーズのサーバーは、最大30のスクリーンで異なる映画を同時にライブストリーミングすることが可能です。さらに、コンテンツの取り込み、転送、再生を同時に実行することができ、効率的な運用が可能です。

2 コンテンツスケジューリングの柔軟性向上
コンテンツの再生は、その場のニーズに応じて柔軟にアレンジ可能です。スクリーン・メディア・サーバーのローカル・ストレージへのコンテンツ転送を待つ必要はなく、オペレーターは最大3,000本の映画ライブラリーから任意の映画を選び、1つ、複数、またはすべてのスクリーンで即座に再生できます。

3 再生の安定性と信頼性が30倍向上¹
従来のスクリーン・メディア・サーバーはローカル・ストレージが必要で、コンテンツの取り込みや再生には時間がかかり、手間のかかるプロセスが原因で上映が中断することも頻繁にありました。しかし、SCLシリーズ・ライブラリー・サーバーは高速なコンテンツ取り込みとリアルタイムのDCPストリーミングに対応しており、スクリーン・メディア・サーバーにローカル・ストレージが不要です。これにより、かつてない効率的な運用とシステムの安定性を実現します。

4 各客席のコンテンツ・ストレージは、従来のローカル・ストレージと比べて200倍に増加し、最大3,000本の映画DCPに対応²
第3世代のSCLシリーズ・ライブラリー・サーバーは、最大400TBのRAID-5ホットスワップ対応ストレージをサポートしており、コンテンツは中央のライブラリー・サーバーに保存され、全客席にライブ・ストリーミングされます。各客席は3,000本以上の映画にアクセス可能です。

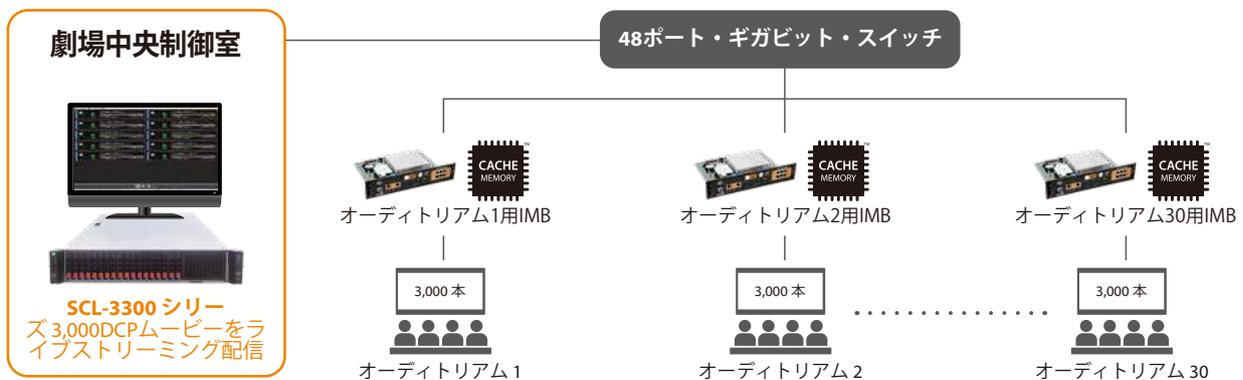
5 フェイルセーフ技術
万が一、SCLシリーズのライブラリーサーバーに障害が発生しても、マルチプレックスの運用に支障はありません。GDCメディアサーバーとSCLシリーズライブラリーサーバーは、ポイントツーポイントのフェイルセーフ技術で構築されており、ライブラリーサーバーがない場合でも、シームレスで自律的な再生が可能です。詳細については、CineCache™テクノロジーを搭載したGDCメディアサーバーSR-1000をご参照ください。

6 高性能、安定性、柔軟性に優れたエンタープライズレベルのストレージ
第3世代のSCLシリーズ・ライブラリー・サーバーは、最高性能のNVMeエンタープライズレベル・ストレージを採用しています。16のディスク・スロットを備えており、柔軟なストレージ構成が可能です。お客様はニーズに応じて最適なストレージ構成を選べます。さらに、ホットスワップ対応の外付けディスクスロットを搭載しているため、メンテナンスやアップグレードも簡単に済みます。

技術仕様

シリーズ	SCL-3300 シリーズ				SCL-2300 シリーズ			
モデル	SCL-3308	SCL-3314	SCL-3320	SCL-3330	SCL-2308	SCL-2314	SCL-2320	SCL-2330
フィジカル								
寸法	445 (幅) × 650 (奥行) × 88 (高さ) mm				448 (幅) × 727 (奥行) × 88 (高さ) mm			
重量	12.85kg (HDDなし)				16kg (HDD含まず)			
環境								
動作温度	10ℳ～35ℳ (華氏50度～華氏95度)							
動作湿度	8%～90%、結露しないこと							
動作高度	10,000フィート (3,000m)							
パワー								
電力要件	100 to 240V, 60/50Hz, 5A				100 to 240V, 60/50Hz, 5A			
最大消費電力	550W				800W			
ストレージ								
システム OS	250GB SSD				250GB SSD			
コンテンツ・ストレージ	15TB - 430TB				15TB - 215TB			
システム・インターフェイス								
ネットワーク・インターフェース	2 x RJ45 (1000Base-T) + 2 x SFP+ (10GBase-SR)				4 x RJ45 (1000Base-T) + 2 x SFP+ (10GBase-SR)			
USBインターフェース	2 x USB 2.0 + 5 x USB 3.0				1 x USB 2.0 + 4 x USB 3.0			
集中再生対応スクリーン数	8	14	20	30	8	14	20	30

システム構成



システム比較 (30スクリーンのシネコンに基づく)

¹従来のシステムでは、各スクリーンごとにローカル・ストレージ・デバイスが必要となり、最大で30台のデバイスを使用します。一方、SCLシリーズ・ライブラリー・サーバーを導入することで、1台のライブラリー・サーバーで30スクリーンすべてに対応できます。

²この比較では、個々のスクリーンに配置される従来の2TBのローカル・ストレージ・デバイスと、30スクリーンすべてに対応する400TBの容量を持つSCLシリーズ・ライブラリー・サーバーの違いが示されています。

